



新年度役員決定！

令和7年度も残り2ヶ月を切りました。今年度も多くの取組を通して、子どもたちは大きく成長してきました。私たち職員も、残りの2ヶ月を子供たちと一緒に全力で駆け抜けていきたいと思えます。

さて、学校生活では次年度に向けた準備期間となっています。その中で一番大きなこととして世代交代があります。毎年、各学年が進級、進学に伴うリーダー学年が変わります。大明小学校においても、令和7年度の6年生から、令和8年度の6年生へとバトンが受け渡されようとしています。過日行われた「令和7年度児童会役員選挙」において、令和8年度児童会会長、副会長が選出されました。多くの学校では児童会役員に立候補する子供たちが少なく、そのほとんどが信任投票となっていますが、大明小学校においては、会長3名、新6年副会長4名、新5年副会長4名の立候補がありました。まずは、今回立候補してくれた子供たちの気持ちに感謝です。それぞれの思いを持ち、立候補し大明小学校のために働く覚悟を決めたことは大きな決断だったと思います。選挙だったので当落はつきましたが、立候補した子供たちにとって、今回の経験は何物にも代えがたい経験になったと思います。立ち会い演説会の内容も「あいさつ」「楽しい学校生活」などにつながる内容が多く、来年度の児童会活動に期待です。しかし、学校生活における児童会活動は、1年間で必ず変わってしまう難しさがあります。継続性を意識しつつもその年度の役員らしさを出せるような活動となるよう、今後新児童会役員、教師集団との話し合いで方向性を探っていききたいと考えています。

夢と希望！

過日、甲西中学校の入学説明会が開催されました。もちろん参加者は6年生と保護者の方々でした。よく卒業する子供たちに中学校での期待することを聞くと、帰ってくる言葉は「部活動への期待」が多くあります。特に南アルプス市は部活動が盛んな地域で有名です。お父さんお母さんの中にも、中学校や高校の時、部活動に夢中になって取組んでいた方も少なくないと思います。私も中学校3年間で部活動に打ち込み、心も体も大きく成長する中学生の姿を多く見てきています。私見ですが、日本の部活動文化が子供たちの健全育成に大きく寄与していると思っています。また、そこで救われている子供たちも多くいます。しかし、報道等でご存じの通り、学校部活動を学校から切り離し、地域クラブへ展開する動きが文科省、スポーツ庁を中心に始まっています。3年後には休日部活動を、6年後には平日部活動を地域へ展開していきます。この流れは止めることはできません。すでに、県外の自治体において部活動を廃止している所も出てきています。今年の卒業生が中学校に進学するときは部活動は存在しますが、今の1年生が中学校へ進学するときはその存在はないかもしれません。いずれにしても、小学校を卒業し中学校に進学した子供たちが、大きな夢と希望を胸に中学校生活を送れることを願っています。もちろん、しっかりと勉強にも打ち込んでほしいですね。